

本年度の前期学校評価の集計結果をお知らせします。今回も多くの保護者の皆様にご回答をいただきました。ありがとうございました。

集計したデータのうち、教職員自己評価・保護者評価・生徒評価の肯定的回答、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が、7割に満たないものを要改善評価項目としました。この結果をもとに、分掌部会・学年部会で検討を重ね、職員会議で全体確認をした後のまとめを学校だよりとしてお示しします。今後とも、信頼される学校づくりを目指し努力を重ねてまいります。保護者の皆様の益々のご理解とご協力をお願いいたします。

本年度の重点教育目標 「自分の将来を描き、主体的に発信できる生徒の育成」

- | | |
|---|---|
| ① 「自ら学ぶ姿勢を育てる」～主体的な学習習慣の定着～ | ④ 「自らの判断で活動できる力を育てる」～自己決定力の育成～ |
| ② 「主体的に発信するための知識・技能を育てる」
～基礎・基本等の確実な定着等～ | ⑤ 「職員の心身の安定を図る組織をつくる」
～個の力が活かされる組織力～ |
| ③ 「自信が持てる心を育てる」～自己肯定感の高揚～ | ⑥ 「地域連携が図られる環境をつくる」～小中、中中連携の強化～ |

令和3年度 岩内第一中学校 前期学校評価

8割以上を
7割未満を で表しています

	教職員自己評価	評価	保護者評価	評価	生徒評価	評価	成果と課題
家庭学習の習慣化	私は生徒の学習用具持ち帰りの指導・徹底に努めた。	72	お子様は、家庭学習の取組を考えながら、家庭に持ち帰る学習用具を決めている。	69	学習用具は、家庭学習の取組を考えながら、学校に置いて帰る物と持ち帰る用具を決めている。	76	・学習用具の持ち帰りについては、生徒が自ら持ち帰るべきものを考えられるよう促す指導を継続していく。 ・学習への姿勢については生徒、教師とも8割近い評価となっており、今後も学校として、粘り強く取り組むことができる指導体制を続けていくことが大事であると考えている。 ・放課後学習の参加人数も昨年度より増えている。ワークの既習問題等に粘り強く取り組む等しながら、達成感や自己肯定感を味わえるような体験をできるよう意識して指導していきたい。
	私は、生徒自身の学習課題を明確にし、自ら学習に向かう姿勢づくりに努めた。	79	お子様は、自分の学習課題(教科別の得意・不得意、単元毎の内容の違い等)を理解しながら学習に取り組もうとしている。	66	わからないことは、そのままにせず、わかるまで努力しながら学習に取り組むようにしている。	79	・本年度から、学習時間とネットやゲーム等のメディア活用時間を把握する家庭学習チェックシートの取組を開始している。データを検証し、改善を図る。
	私は、「家庭学習チェックシート」や「テスト学習計画表」等を活用し、生徒の日々の家庭学習(宿題や塾での取組で終わらせない学習方法)の指導に努めた。	79	お子様は、家庭学習の習慣が身に付いている。	62	「家庭学習チェックシート」や「テスト学習計画表」等を活用し、日々の家庭学習に計画的に取り組んでいる。	55	
自分の将来を描き、主体的に発信できる	私は、校内研修の取組を、自分自身の授業改善に有効に生かしている。	83					・「わからないところはどこなのか」を、授業の最後の振り返りの時間などを使って理解させるとともに、わからないことがあれば教師に聞くのが当たり前になるよう声かけを継続する。
	私は、基礎・基本の定着のために、個に応じた指導等を工夫しながら教科経営をしている。	83	お子様は、学校の授業等において、個に応じた指導を受けていると感じる。	54	授業や放課後学習などにおいて、わからないことなどを先生に質問しようと取り組んでいる。	53	・「個別最適な学び」「協動的な学び」の場面を意識しながら、生徒が意欲的に学習に取り組む理解を深められるよう、継続して授業改善に取り組む。
	私は、生徒が主体的に発信できるよう、教科や総合的な学習の時間、特別活動、道徳等の授業を工夫している。	79	お子様は、主体的に物事を発信したり表現したりできるよう成長してきている。	76	教科や総合的な学習の時間、特別活動、道徳等の授業で、主体的に発信したり表現したりしている。	76	・総合的な学習の時間、特別活動などで自分の生活や将来について考える学習や、キャリアパスポート等を使って自分の目標を設定したり成長を振り返ったりする取組をしているということを、ホームページ等でより一層家庭に発信していく。
	私は、総合的な学習の時間や特別活動等で、キャリア形成と自己実現を図ることを意識して取り組んでいる。	78	お子様は、学校生活の中で、自分の生活や将来を考えられるよう成長してきている。	68	学校で学んでいることが、自分の生活や将来に生きるだろうと実感することができる。	74	

自分自身と向き合う	私は、自己評価・他者評価などを通し、自己を振り返る学年・学級経営計画の立案に努めた。	74	学校は、お子様のよさや仲間のよさを認め合う教育活動を位置付けている。	78	学校生活を通して、自分のよさや友だちのよさを認め合う場面があると感じる。	91	・成功体験ができる場面を設定し、小さな成功を見逃さず声をかけたり、保護者への発信（通信や通知表など）を増やしたりする取組を継続する。
	私は、授業や行事など、日常生活に直結した指導計画の立案に努めた。	78	日常の授業や学校行事を通して、お子様の成長を感じることができた。	83	学校生活を通して、自分やクラスの成長が感じられる。	85	
	私は、内容項目を押さえた道徳の授業や日常の道徳教育を行った。	83	学校生活を通してお子様の道徳性の向上を感じる。	76	道徳の授業や学校生活を通して、自分の心が成長していると感じる。	79	
	私は、生徒の成功体験の機会設定を行うことによる自己理解を深めさせる指導に努めた。	76	お子様は、自分に自信がもてる心が備わってきている。	68	自分には良いところがあると思う。	70	
達成感を実感できる学校生活	私は、校内外における「一中生挨拶」の指導・強化に努めた。	86	お子様は、校内外で進んで挨拶をしている。	85	積極的に挨拶をしている。	97	・自己指導能力を育成するために、「自己決定の場を与える」、「自己存在感を与える」、「共感的人間関係を育成する」生徒指導の三つの機能を意識して指導する。 ・休み時間等も生徒とともに過ごし、小さな変化を見取るとともに声をかける等しながら、信頼関係を構築する取組を継続する。 ・大人に相談することへの抵抗感を減らすために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用するなど相談体制を充実させる取組をする。
	私は、実践に導く生徒の自己判断・自己決定の機会設定に努めた。	70	お子様は、自分で考え、物事を判断している。	80	物事を決めるときは、自分の考えで判断している。	80	
	私は、学年・教科・部活等の指導体制の連携強化に努めた。	81	学校は、先生方の連携が取れた段差のない指導をしている。	63	先生方は、学習や生活の決まりなどについて、みな同じようなことを言ってくれるのでわかりやすい。	77	
	私は、いじめを発生させない未然防止の取組に努めた。	90	お子様は、いじめは絶対に許さないという考えで生活している。	93	いじめは絶対に許さないという考えで、思いやりの気持ちを大切にしながら毎日を過ごした。	93	
	私は、生徒や保護者が登校に不安を感じないように、感染症対策に努めた。	76	学校の感染症対策は、適切であると感じる。	82	学校の感染症対策で、不安なく登校することができている。	85	
	私は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるよう努めた。（不登校への対策も含む）	86	学校は、相談しやすい環境を作る等、生徒が安心して毎日を過ごせるようにしている。	67	悩みがあれば先生方に相談するなどし、学校へ安心感をもつことができている。	65	
教職員の心身の充実	私は、組織としての各種業務運営を確立させることによる個人負担の軽減に努めた。	55					・生徒と過ごす時間を確保するために、学年内、分掌内で協働しながら業務を進める等、働き方改革の取組を組織的に進める。 ・各種行事のPDCAサイクルをより充実させ、より一層洗練された行事の運営を目指すことで、校務の充実と業務の軽減を両立させる。 ・小中一貫教育サポート事業を進めるために、乗り入れ授業の充実と情報提供・情報共有を全教職員が意識する。
	私は、各種業務のPDCAサイクルの徹底に努めた。	59					
	私は、小中、中中の連携による体制強化に努めた。	60					
働き方改革につながる	私は、各教育活動の教育課程への位置付けについてその意義を理解し、指導に努めた。	72	学校の各種取組は、その目的や関連性が理解しやすい。	69	学校の取組は、目的やつながりがわかりやすい。	78	・キャリア・パスポートの活用により、生徒は学校の各教育活動の関連性について少しずつ理解を深めていると感じられる。学校の取組をホームページ等でより一層発信していく。 ・CS（コミュニティ・スクール）については、統括コーディネーターと連携し、学校の網戸の取付などを行った。CS通信やホームページの発信だけでなく、登下校の見守り活動等、地域を身近に感じられる学校運営協議会の活動をより一層推進していく。
	私は、町教委の「部活動指導のガイドライン」に準じた部活指導に努めた。	75					
	私は、学校運営協議会(CS)を活用するなど地域人材の活用に努めた。	53	学校は、学校運営協議会を活用するなど、地域人材の活用に努めている。	67	地域の方をはじめとする外部の方々とは接する機会がある。	58	

その他のご意見に対する学校の見解

- ・校内の換気、網戸について多くのご意見をいただきました。学校だよりでお知らせしたとおり、CS（コミュニティ・スクール）の協力と同窓会に支援をいただきながら進めているところです。
- ・ジャージ登校についてご意見をいただきました。教職員の連携を図り連絡の徹底に努めていきます。
- ・感染症対策についてご意見をいただきました。職員玄関には非接触型の体温計を設置するとともに、生徒玄関のサーマルカメラを見やすい位置に設置し直しました。引き続き、校内外での新型コロナウイルス感染症対策について、気を緩めることのないよう取り組んでいきます。また、タブレットの持ち帰りについても準備を急いでいるところです。一中祭も保護者参観ができませんでしたので、行事の動画等も様々な方法を検討しながら、生徒たちの活躍が家庭に伝わるよう進めていきます。
- ・教師の指導と、生徒の受け止め方にずれがあるのご指摘をいただきました。生徒が指導の内容を理解できるよう、場面に応じた丁寧な指導を心がけていきます。
- ・教職員に対する温かい応援メッセージをいただきました。大変励みになります。ありがとうございました。